

ほうろう技能者育成について

1980年にほうろう製造作業者の技能向上を目的に、中央職業能力開発協会（中能協）主催のほうろう加工技能検定試験が始まりました。技能検定試験は、日本珪瑯工業会が中能協より実施を委託され、西地区、中地区、東地区の3地区を会場として学科試験と実技試験が実施されました。中能協主催の技能検定試験は、2007年（平成19年）まで23年間実施されましたが、ほうろう業界の縮小に伴い受験者数は激減し廃止となりました。その後、工業会会員より従業員の教育と技能継承のために技能検定試験再開の要望があり、中能協へ技能検定試験再開を打診しましたが、規模等の要件が合わないため断念し、日本珪瑯工業会独自の技能検定試験を計画し、2016年（平成28年）より日本珪瑯工業会認定の技能検定試験を開始し、現在に至っています。日本珪瑯工業会認定の技能検定試験は、中能協の試験を参考に運用規定を作成し、学科試験と実技試験を実施、等級として1級、2級、初級の3階級で開始されました。その後、運用規定が改訂され、等級は1級、2級の2階級とし、別途、学科のみの学科等級並びに実技のみの実技等級を追加し、それぞれ認定をしています。

第1回技能検定試験は、2016年11月に14名（6事業所）の受験者で開始され、その後、開催時期が調整され、第2回からは学科試験を1月、実技試験を2月に実施する形での開催になっています。しかし、第5回開催時の2021年はコロナウイルス感染対策が問題となり、学科試験はオンライン形式で実施し、実技試験は受験場の感染対策が難しいため中止となりました。その後の開催もコロナウイルス対策を重視して試験は続けられ、2024年で第8回までの実施になっており、受験者ののべ人数は151名になります。

また、学科試験の合格率を高めるため、2020年から学科試験問題の通信講座が開始されました。通信講座は、テキストとなる「ほうろう技能教育ガイドブック」をもとに課題ごとの問題の提供と、それへの回答による方式で、技能検定2級を目途として知識を高める講座として開始しました。2023年からは技能検定1級を目途とした講座も開始し、2024年現在までに第5回実施しています。

なお、技能検定試験第1回～8回の実施状況の履歴と、これまでの試験の合格者数のデータを下記の表に示します。

実施回数	開催日	受験者数 (人)	会 社 数 (社)	合格者数 (人)	合 格 率 (%)
第1回	2016年11月	14	6	3	21%
第2回	2018年2月	16	9	5	31%
第3回	2019年2月	19	9	11	58%
第4回	2020年2月	15	7	7	47%
第5回(※)	2021年1月	22	9	13	59%
第6回	2022年2月	18	7	14	78%
第7回	2023年2月	24	6	13	54%
第8回	2024年2月	23	8	13	57%
合 計		151	—	79	52%

(※) 第5回はコロナ感染対策のため学科試験のみオンラインで実施し、実技試験は中止した。